



ロータリー:
変化をもたらす



2017-2018 年度

国際ロータリー会長 / イアン H.S. ライズリー 会長 / 佐々木 哲也 副会長 / 小汀 泰之
2690地区ガバナー / 池上 正 幹事 / 曾田 敏康 会計 / 高砂 明弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
4月12日	会員 大島 淳司	新入会員スピーチ
4月19日	地区研修協議会報告 ①	小汀・来間・堀江 会員
4月26日	地区研修協議会報告 ②	福田・佐々木・原泰 会員

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
44	33	11 (4)	82.5 %	— %

■欠席者 ■

飯塚大 / 飯塚俊 / 清原 / 杉原 / 板垣 / 三好 / 園山
(山根 / 牧野 / 遠藤 / 岩浅)

■来訪者 ■

なし

■メイクアップ ■

なし

■次回例会受付当番 ■

(4月19日) 大島淳司 / 河原治子 / 原 孝士

(4月26日) 持田稔樹 / 原 泰久 / 堀江卓男

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央	松江
4	4/23(-) 5/21 5/28(-) 6/18 6/25(-)	松江南 4/23
火	出雲 5/1(-) 6/26	松江しんじ湖 5/1
水	大社 5/2(-) 5/9 5/30	松江 5/2 6/20 6/27
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 4/26(-) 6/21 6/28(-)
金	出雲南	

■会長挨拶 ■

4月9日1時32分、島根県西部を震源として大田市で震度5強の地震が発生、出雲市でも震度5弱の揺れを感じました。けが人数名や現時点で600件を超える建物被害が確認されています。断水もまだ解消されていないと報道されています。しばらくは余談を許さない状況が続きます。

前日4月8日の5クラブ合同植樹プロジェクトには早朝から出席いただきありがとうございました。風が強く、寒い中ではありましたが、雨は免れることができました。この模様は、わがとこテレビでも早速放映され、活動のPRにもなりました。今後、情報ネットしまねでも紹介される予定との連絡を頂いております。週報にも掲載してありますが、赤椿と白椿を1本ずつと総計329本の赤白ツツジの植樹を無事に終えました。

イアン・ライズリーRI会長が地球の持続性を念頭に会員1人当たり1本以上の植樹を提唱されたことがきっかけですが、当日出席できなかった方の分も含め平田クラブで56本のツツジを植樹しました。曾田幹事と社会奉仕委員会の清原委員長・福田副委員長には、他クラブとの事前調整会議に幾度となく出かけていただき、お世話になりました。

植樹以上に大変なのが育樹です。今回の出雲文化伝承館への植樹には樹木医の皆さんに関わっていただいています。今後の育樹にはロータリーは関与せず、公益財団法人出雲市芸術文化振興財団で管理していただくことになっています。少し遠方であり、気軽に見に行くことはできない場所ですが、出雲文化伝承館を彩る紅白の花壇となることを祈りたいと思います。

今年クラブ恒例の愛宕山公園早朝例会を行いませんでした。代わりに、4月1日日曜日に1人で散策し、桜の咲き具合を撮影した写真を週報に掲載しています。創立40周年記念として4年前に植樹した平安枝垂れ桜も、1年前の早朝例会で見た時と比べると、立派に花を咲かせているように思いました。またその前年に、地区補助金を活用して植えた枝にも花が咲いていました。公園には、お花見や動物とのふれあいを求めて、たくさんの方が集まっておられ、クラブの植樹活動も着実に効果を発揮していると感じました。

■理事会報告 ■

1. 岩浅会員から出席免除願申請が提出され12ヶ月の出席免除を承認。
2. 会費減額について、クラブ細則を改正するためのクラブ協議会を5月17日に開催すること、および、クラブ細則改正案を承認。

■幹事報告 ■

1. 第4グループガバナー補佐 岩永邦夫様、大社ロータリークラブ会長 小川美樹様より、4月8日開催の5クラブ合同植樹プロジェクト出席のお礼状を頂きました。
2. 例会变更

- 大社RC 5/9(水) 6:30 ~ 出雲大社清掃奉仕
5/30(水) 18:30 ~ 青葉例会 会場島根ワイナリー
ビジター受付 11:30~12:30 事務局
- 出雲中央RC 5/21(月) 移動例会
ビジター受付 11:30~12:30 事務局

3. 休 会
○ 大社RC 5/2(水) ビジター受付 なし
4. ロータリーレートの変更
4/1より 1ドル 104円 (現行108円)

■委員会報告 ■

- 出席親睦委員会 :
4月の会員誕生・伴侶誕生・結婚記念祝
- 情報・雑誌委員会 :
ロータリーの友4月号の紹介
- 会員増強・会員維持委員会 :
5月31日開催の親睦趣味の会
および 夜間例会のお知らせ

■スマイル ■

- 佐々木 (5 クラブ合同植樹プロジェクトが無事に終了しました。ご協力いただきありがとうございました。大島淳司会員のスピーチ、楽しみにしています。)
- 曾田 (4/8(日)5クラブ合同植樹プロジェクトご協力頂きましてありがとうございました。大島会員、本日のスピーチ宜しくお願ひ致します。)
- 大谷厚 (大島会員のスピーチを歓迎して！)
- 久家 (パズルでロータリーはね 誰もが20回応募しないと当選しないそうで目標3年、仕事の合間で20回だと思っていましたが9月は締切日にFAXで、2回目は10月、3回目は1月、決算の忙しい中ギリギリでしたが3回目で当選しびっくりしています。ありがとうございました。又、昨年の県法人会と先日日本商工会議所と続いて表彰状を頂きましたので併せてスマイルさせて頂きます。ありがとうございました。)



■ ■ ■ スピーチ・例会行事 ■ ■ ■

新入会員スピーチ 大島 淳司 会員

今回の新入会員スピーチ何を話そうか考えたが、これまで何を考えて生きてきたのかということ、改めて考える機会がなかったの、良い機会だと思ひ話したいと思ひます。

高校を卒業して東京の大学に行きました。高校生の頃は平田にいることが嫌で、とにかく平田から出たかった。何とか東京の大学に行くことができたが、東京に行くことが目的だったので、当然勉強

などしなかった。先日の岩浅さんのスピーチではありませんが、自分も大学に5年行ってしまった。今考えると、すごく親不孝なことをしたなと思う。もし自分の子どもが同じことをしたら、絶対に許さないと思ひます。卒業して東京で就職しました。就職先はコピー機の販売会社でしたが、典型的な数字第一の営業の会社でした。

成績が悪いと夜9時、10時まで営業所に帰ってくるなと言われ、今なら確実にブラック企業じゃないかなと思ひます。そんな会社に3年いたのは、自分には帰る場所があったからなのかなと思ひます。

平田に帰りたくはなかったが、こちらに帰ってきました。こちらに帰ると早速青年会議所のお誘いがきました。最初は入りたくなかったが、仕方なく入会しました。しかし、入会するとたくさんの素晴らしい経験をさせて頂きました。

青年会議所に入るまでは、平田のまちについて無関心で、「平田とはどんなまちですか？」と聞かれても、「ただの田舎で何も無いところですよ」くらいしか話せませんでした。しかし、青年会議所に入り、このまちで様々な活動することで本当に平田のまちが好きになりました。また、青年会議所に入会した直後に台湾研修事業がありとても良い経験をさせて頂きました。この事業は台湾を日本が統治していた時代に日本人が残した足跡を辿る事業でしたが、何の前知識もなくただの海外旅行気分で行った自分にとっては、とても素晴らしい経験をさせて頂きました。それまで戦争中、日本人はアジアの国々に悪いことばかりをしていたという思いしかありませんでしたが、この台湾に行ったことで全然違うということがわかりました。亡くなった祖父が、よく戦争の話をしていましたが、もっと真剣に聞いてあげれば良かったなと思ひます。

10年前に結婚もできました。こちらに帰ってからは色々な人に結婚はまだかまだかと言われ、なかなか結婚できなくて、あきらめかけていたところに良いご縁があって結婚できました。子どもも二人できて、長男は先日ようやく小学校に入学しました。次男もまだ3歳ということで、子どもが成人するまではまだまだ先が長いので、しっかりがんばらなければならないと思ひます。

青年会議所のときに様々な経験をさせてもらいましたが、なかでも忘れられない経験が、今から7年前に理事長をしていた時に東日本大震災に被災したことです。あれから7年経つわけですが、人間どうしても忘れてしまうもので、その時に感じたことなど忘れてしまったことがたくさんあると思ひます。

しかし、忘れられないのがその時にお世話になった方々や、一緒に行った仲間など、人と人のつながりやお互いを助け合う心です。自分は平田から3人で宮城県塩釜に行き被災したが、もしこれが一人で行っていたら、とてもつらく大変だったと思ひます。仲間といたからあまり深刻にならずに無事に平田に帰ってくる事ができたと思ひます。また、地元の方にもたくさん助けて頂いた。



この震災を体験して感じたことは、お金がなくても、食べるものがなくても、周りに一緒に笑える家族や仲間がいれば何とか生きていけるのではないかとことです。仮設住宅での孤独死というニュースをよく聞きます。確かに、家族がなくなって周りの知り合いも全くなりなくなったら気持ちも落ち込んでそんな状況になるのかもしれない。

こうして自分の今までを振り返ると、本当にたくさんの人に支えられて生きてきたと改めて思ひます。家族やたくさんの人に支えられて生きてきましたが、逆に言えばそれだけ多くの人に甘えて生きてきたと思ひます。これからは少しでも人を支えられるような生き方ができればなと思ひます。